

村20周年記念式典

盛大に行なわれました。

総務費

和46年度

般会計当初予算構成比

農林業費

1.7% 衛生費

1.3% 消防費 0.6% その他

246,347

市町村 たばと消費税

21.0%

村 税 10,940

地方交付税

固定資産税

38.2%

立村二十周年を迎えて

行 河辺村公民館

館報編集委員会 電話(河辺)5番

尾上印刷所

四十六年度の当初予算

険校舎に無医地区等、名実ともに 後進地域そのものでした。

のみなさまの限りない郷土愛によ

このたび立村二十周年を祝い、

立して以来、ここに満二十周年を

|今日、かくのごとく諸施設を整備

町村圏、農地総合開発等の諸事業

立村前の本地域は、整備のおく 危険な道路や河川、老朽危

これひとえに、国、県の御援助

村の構造改善に全力を傾けており

昭和二十六年一月一日に、河辺 | た。その道のりはまことにきびし

村 長

稲

田

温

般会計 2億4千6百万円 一 特別会計 6千6百万円-----

の増加がみられ

|をこえ、危険感をおおうべくもあ|助ご協力を賜りますよう、お願い

らに、農村地域の衰退は憂慮の域

で前年度と比べ 一百二十七万円

老人学級復活

河辺の老人意気高

五百六十五万円 社会教育費は

辺村 国勢調査による実態

2,810 1,404 子 子 1,406 (S40.10.1 現) 3,599

1,775 1,824 (S35.10.1 現) 844 4,205 2,087

◎家庭でみんな体操を

い間に行ないましょう。

も若きもご一緒に!

これはなかなかやれないことですが

0

豕族そろって肩たたき

やねばし

口子 2,115

みなさんの健康づく

に実行しましょう

活をした方には覚えがあるでしょうが **た。疲労回復には効果のある体操でし** 重訓練後には 柔 軟 体操をしていまし を決めて放送いたします。昔の兵隊生 こ、家で、山で、畑でラジオ体操をし そのラジオ体操第一は、 重労働をしなければならない農業に

聞くだけではなにも 意 味 はありませ

時より、有線放送で流していますが、

ばんでいるのです。

九日から、トン、トン、トンカラリッ

たき……の 音 楽 を毎日午後七

傾斜地帯が多い、この二つの原因

この面積の差と、日本は うようになっておりま 愛媛県では五反歩とい 八町歩、日本は八反歩 戸あたりの農耕面積が スには、アメリカの一 古い世界農業センサ

が日本農業の近代化、機械化をは

立村二十周年式典のあった三月二十

た。今はラジオ体操といっておりま

でした

うが、御家族、みなさんの親密

痛、リュウマチの予防にもなる

とやすらぎのム

要の五〇%しかまかなっていな

農業は現在ゆきづまりの状態であ い。その他の理由もあって、日本 そのくせ国内産の木材は日本の需

外材輸入で下向か、横ばいの値、

トップする。木材が少し上がれば

すぎ、米はあり余るから価格はス

林業するにしても傾斜がはげし

ードを作りだす

毎日の疲労回復の薬だと思って、

のが目的です。

歯は健康の象徴であり、歯の丈夫 る。昔からは○○眼という。 いない。 歯は 大事 にすべきであ な人は体も健康であるにはまちが あけぼの学級

のいづこも同じようです。

河辺村の農業は将来どうなるこ

すく、下がり、老令化現象は職場 ろへ、受胎調節で人口増加率がま

又、工業が進み人手不足のとこ

老人学級というのは老いくさい とか・・・・・。

一人もいないであろう。

やむをえず出稼ぎをしなければな 生活を営むことがむつかしいので し、他郷に収入の場を求める人は出稼ぎしたくて愛する妻子を残 本村での農業収入では文化的な しからば、出稼ぎ対策をするに

むつかしく、今後の重大な地域課 ?目下のところ、明るい見通しは しても将来、当村で同じ程度の収 入が得られるようになるだろうか

冢庭 の日

0あっくり 話し合う 時間を持ちましょう

〇親子 ○家族そろって 読書をしまし よう い 夕食をしましょう

日の農業間も解決すべきである。

だが本村としては、諸般の事情

全国に共通する問題でもあり、今

成を祈る。

う。衆智をしぼって解決の早期達 が自主的方途を講ずる必要があろ 毎月五日は

他話し合って、本にまとめる事に などを中心に産業教育、交通その 結成し、村内の物語、伝説、由緒 けぼのを迎えた気はくでやること んで若返り、河辺村の老人皆、あ り、これからはあけぼの学級で学覧らないのである。 から、あけぼの学級ということに となった。 更に郷土研究グループを有志で あけぼのとは夜明けの意味であ 題である。

四月十四日復活してやる打合会を

人にもまだやる気の者は多い、

眠っている老人を喚起せよ、老

っかり世のため社会のために使っ

協議事項は若返りを目標に健康

たらどうか、等々頼もしく思っ

もち主もおる。それ等の人の話し

しては腕をまだ振ってみせたい

た。歯を尊ぶ会の意だが、大体

なった。

が、格別な事業もなされない。老い。会には事業もあるはずだった

一議もなくきまった。とうとうたる 長寿を計ろうというのだから、

気炎の老人の役員さんの意気に感

たっていることは、うごかせない る僻地は全国 共通の悩みでもあ いうものは、一大困難な時期にあ る。工業立国は国策です、都市化 当村だけではなく、山村といわれ 事実となっており、いや、これは は現実の姿となって来ました。 以上のように当村での農林業と 今日の経済事情となった以上、

知その他というのが…

帯

316

153

38

37

48

24

16

周辺の山を桜、もみし、つつじな 合部落の人々が立ちあがり、出合

どの花で飾ろうと、約五〇〇本の「うと夢みてはじめたもの。

七六人

四配達してもらいにくい…

の飲む

441

250

58

54

46

20

13

う気運が高まっているなかで、出

年々、地区をひろげてゆき、いず れは村内各地域を景勝の地にしよ

今年度は出合ふきんを行ない、

かして、郷土を美しくしようとい

げむ姿が見られる。

このほど、本村の自然条件を生|苗木を購入し連日、

植樹作業には

五人

去芸人

||経済的にどうしても…

五三人

人 の

1,065

605

206

102

120

1

31

Ł

以上のような結果が、

河辺

各世

数 総

6,860

3,524

1,152

951

898

192

143

電話

0

ダ

1

t

ル化

実現

村の乳類普及率の現状です。

令

数

町

町

電話が開通した。

去る三月十二日に地域集団自動

|同じブロック内での話し中には通

じないという現象がうまれる、こ

洲 丽

浜

子 朋

五十崎町

Л

辺 村

総

長

肱

河

になる。

しかし、この集団電話の弱点は

村内の通信網もほぼ充実したわけ

これで加入率も八四%となり、

こでお互いに注意したいことは ◎みんなで三分間通話の徹底!

三、信号無視、速度違反、過積載

業者に対する指導

飲酒運転の取締りと酒類提供

運転追放運動の推進

、地域および職域における飲酒

後期運動の重点

めの指導および取締り 等のむぼうな運転を防止するた

職場における安全運転管理の

を実行したいものだ。

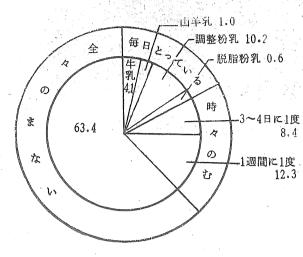
二本づつとっている

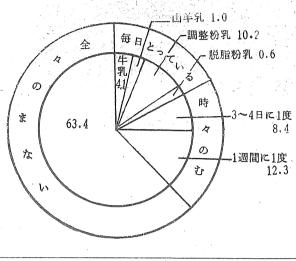
毎日一本はとっている

家 庭 1 お け 3

みなさんのご協力により調査いた び家族の乳利用状況を知るため、 み、ぜひ摂取してもらいたい食品 脂肪など大巾な摂取増加が望まれ 乳類、タンパク質、緑黄色野菜、 の一つです。 なかでも乳はあらゆる栄養素を含 しました結果、下記のような表に ンスの取れた栄養をとるために、 よくなって来ておりますが、バラ 私達の食生活は、近年だいぶん そのため、各市町村の学童およ (489世帯による)

◎牛乳をとっている世帯での本数 河辺村の乳消費動向





う。だから、しかってもらえな「忙しそうに仕事をしている。 うに働くところを見ると、たく い父はいけないのだと思う。 をかわいく 思って いる のだろ ひどくしかるときもある。 ましい父に見える。 して忙しそうだ。 父はやさしいときもあれば、 山の仕事、畑の仕事と忙しそ ひどくしかるときは、私たち

になる。

おじいさんも、おばあさんも

から思う。

不自由もなく育った私たちは

これがしあわせな家庭だと心

なんだか私はからだの方が心配

じいさん、

おばあさんのおかげ

家庭が明るいのは、

、両親やお

仕事にはげむ父や母を思うと

坂本小六年

地

達

子

Ľ 19 Z

※ 青 再 年 S 7 柿本恒 長 17 男さ

われました。 新役員は次のとおりです。 三月三十日の青年団総会におい 四十六年度の役員選出が行な 長 恒男

◎それでは飲まない理由はという

世帯という状態です。

五本以上とっている

(単位一人数)

1,113

517.

171

178

190

31

26

335

152

54

53

44

27

5

691

338

98

119

103

14

19

一きらいという答えが

口買うのに不便なため…

七五人

年 令

203

101

31

23

21

26

*

郷土を美しくする会発足す

出

合

地

区

1,106

584

195

155

132

30

10

 $0 \sim 2 | 3 \sim 5 | 6 \sim 10 | 11 \sim 20 | 21 \sim 30 | 31 \sim 40 | 41 \sim 50 | 51 \sim 60$

1,590

824

301

230

194

19

22

しいものです。 し合って、団活動を盛りあげてほ 他の役員、団員もおおいに協力 副団長 副団長 訔 富永八重子 敏

5月

N

ます。 は四月五日か めて行なわれ れの重点を定 けて、それぞ

防止を目標に、なかでも新入学児 童の保護を重点として行なわれ、 者事故とくに子どもと老人の事故 ら十日までの 六日間、歩行

動が展開されることになっており 前期の運動はすでに終りました。 ら五月一日までの六日間、行楽期 における事故防止を主眼として運 後期の運動は、四月二十六日か を肝に命じて次のことを守りま ○地域社会で飲酒運転を監視す ○家族ぐるみで飲酒運転を追放 る。

り、飲ませたりしないように○運転する人には、酒を売った ○酒の出る会合などには、車を 運転してゆかないよう事前に 注意する。

○飲酒運転をしようとしている る。等を実行して交通事故防 徹底する。 (河辺駐在所)

かってくれる。 いつも私たちに気をつ ださず、 いつも笑顔をわすれな

母は、

ず、文句ばかりいっている。 ザラくしている。 でも、私たちは母に感謝もせ 母の手は、砂をいじるように るおじいさんが好きだ。 このようなやさしい母と、た 私は、いつもニコくしてい

聞かされている。

い」と、いつもおじいさんから

いることをわすれてはいけな

「明るい心と、

いつも、笑顔で

くましい父も 笑 顔 をわすれな いる。 をしあわせにするのだと思って かったと思う時が、八人の家庭 生まれてきて、ほんとうによ

がする。 と心にきざみてまれたような気 おばあさんの苦労を、しみじみ 私は、父や母又、おじいさん

える家庭だと思っている。 いて、明るく、なんでも話し合

私の家族は八人だ。

おじいさんや、おばあさんも

苦労をされた手だ。

父は、朝早くから牛の飼いを

10

た

0

家庭

紹

介

手伝いをしよう。 だから、私も一生けんめいお

「明るい、楽しい、笑顔のある 私の家庭は、ズバリいって

んな家庭であるように努力した 家庭」だと思っている。 いつまでも、いつまでも、こ (四十五年十二月記)

裸にて生まれとし子が裸にて

今年もかけぬ百万の保険

賭けし土俵に心傾むく

惠

美

子

でも、つかれたという表情も

期、後期に分 とかわって前 れまでの運動 全運動は、と の全国交通安 ことしの春 | 五、車両の点檢整備 ◎歩行者の正しい横断と歩行者保 停止の励行の指導および取締り、踏切における安全確認と一時 ◇歩行者は、道路を横断すると きは正しい横断で安全にわた

◇車のすぐ前や、 ◇道路への飛び出しをしない。 ◇運転者は、横断中の歩行者や 切らない。 りましょう。 横断しようとしている者がい る時は、必ず一時停止する。 すぐ後ろを構

緑に染まり葉末よりおつ

前期の運動

◎飲酒運転を追放するために 『のんだら乗らない』 〃乗るならのまない 〃 家鳴りしと思う間もなく屋根の雪 南国のとの山峡に住み古りて たまさかに歌会に来たれば歌友の中に 悪しきこと知らずうまき酒のむ 在村し日のままの師の顔を見ぬ

振 り 袖にもまれて登る初参り 元 旦 の 計 は三日の計にすみ 新春はえんぎずくめの松のうち 道 Ь 道とかわる初参り



ユ キエ

老い猫の住かとなりし空家に せせらぎの中に聳ゆる地嶽谷 詩をかきて逝きし綾子の心境を 水銀灯に照されており なお忘らじや春くるごとに 信 義

白玉の露の一滴一滴が 連休で帰りし子等の笑う声 障子はりし明るき中に坐りいて 妻となりたる日を思いいづ ききつつ吾れは菊いけており 関 政干代

仙 人

地響きたてて吾が前に落つ

繁 男